

第6回東日本ジュニア総合空手道選手権大会
同時開催 第7回 IKA 全日本総合空手道選手権大会

【日時】平成 30 年 5 月 27 日(日)

選手受付・計量 AM 8:00
開会式 AM 9:00
試合開始 AM 9:30

【会場】霞ヶ浦文化体育館(水郷体育館)

〒300-0835 茨城県土浦市大岩田 1051 Tel.029-823-4811

【主催】北関東フルコンタクト空手実行委員会 IKA 国際空手協会

【参加費】1 種目 6,000 円 2 種目 7,000 円 3 種目 8,000 円 4 種目 9,000 円

※パンフレット・記念品(志ち乃のどら焼き)含む

【種目】1. フルコンタクト 2. 防具付 3. グローブ空手 4. 形(伝統・極真) 5. 小太刀短棒術

【ルール】別紙参照

【階級】幼児～高校生、一般(小太刀は高校生・一般なし)、グローブ空手は一般男子のみ

◇フルコンタクト◇ 学年別・男女別(初心クラス、初級クラス幼児のみ男女混合)

◎初心クラス(無一10級) ◎初級クラス(9-7級、または6-4級で地方大会で入賞歴のない選手)

◎上級クラス(6級以上)

※JKJO全日本大会出場者、小学生で地方大会でBEST4以上入賞者は帯色にかかわらず上級にエントリーしてください。

※階級分けをしておりますが、希望があれば選手保持級クラスより上のクラスへのエントリーを可能とします(保持級より下のクラスへのエントリーは遠慮ください)。

◇防具付◇ 学年別(2学年混合)・男女別(幼児のみ男女混合)

◇グローブ空手◇ 一般部・壮年部(37歳以上45歳まで)・男子のみ

◎軽量級 55kg～60kg ◎中量級 60kg～65kg ◎中重量級 65kg～70kg ◎重量級 70kg～85kg

◇小太刀短棒術◇ 学年別(2学年混合)・男女混合、中学生まで

◇形(伝統形・極真形)◇ 学年別(2学年混合)・男女混合 初級・上級(伝統か極真かどちらかのみです)

※すべてのカテゴリーにおいて少人数クラスの場合統廃合があります。

※申込書には、新学年で記入してください。

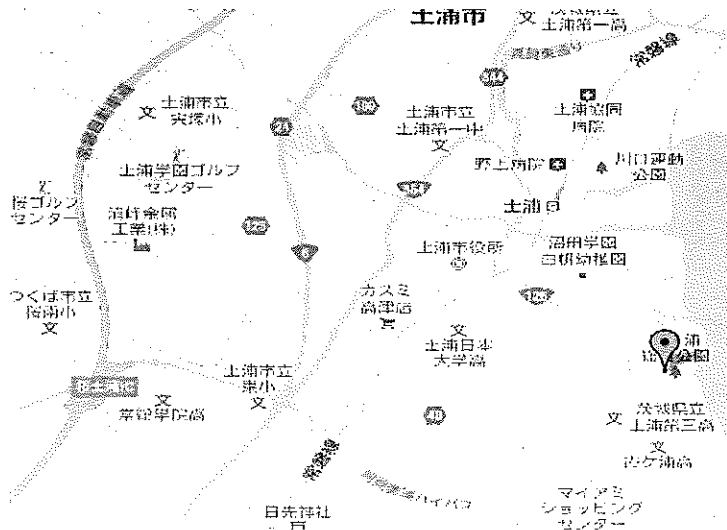
【締切】2018年4月7日(土)必着

* 申込書、総括表と参加費は現金書留にて以下大会事務局宛にお送り下さい。

* 一旦納入された参加費に関しては、いかなる理由があろうとも返却しません。

【申込先】〒300-0045 茨城県土浦市文京町4丁目3番地 富士ビル4F 拳友会中山道場 事務局

Tel.029-869-9471 Fax029-869-9473



大会競技規定

<フルコンタクト>

【試合時間】 幼児・小中学生・一般女子初級 本戦 1分30秒 延長 1分(決勝のみ再延長)

高校生以上 本戦 2分 高校生・一般男子上級及び女子上級 延長 2分間(決勝のみ再延長)

一般男子初級、マスターズ、シニア 延長 1分間(決勝のみ再延長)

【防具着用表】

防具	ヘッドガード	拳サポーター	スネサポーター	膝サポーター	ファールカップ	チェストガード
幼年	主催者用意有	○	○	任意	○	×
小学女子	主催者用意有	○	○	3年以上義務	○	3年以上義務
小学男子	主催者用意有	○	○	3年以上義務	○	×
中学女子	主催者用意有	○	○	○	○	○
中学男子	主催者用意有	○	○	○	○	×
高校女子	主催者用意有	○	○	○	○	○
高校男子	主催者用意有	パンチンググローブ (主催者用意有)	○	○	○	×
マスターズ	任意	パンチンググローブ (主催者用意有)	○	任意	○	×
一般男子初級	主催者用意有	パンチンググローブ (主催者用意有)	○	任意	○	×
一般男子上級	×	×	×	×	○	×
一般女子初級	主催者用意有	○	○	○	○(アンダーガード)	○
一般女子上級	×	×	○	任意	○(アンダーガード)	○
シニア	任意	パンチンググローブ (主催者用意有)	○	任意	○	×

※幼児のファールカップ、ヒザサポーターなど使用していない場合の事故などは自己責任となります。小学生以上は規定を守らない場合は失格となります。

※ヘッドガードは主催者が用意しますが、各自持参の面でも使用可能です。

※サポーター類はJKJO指定のサポーターではなくても使用可能(類似品)です。

※高校生は主催者用意のパンチンググローブを使用します。(持ち込みも可。JKJO・極真・Pグローブ・マーシャル・イサミ)

※ヒザサポーターは3年生以上義務となります。2年生以下は自由です。

※一般男子上級・マスターズ・シニアは、マウスピース可

【1本勝ち】

○反則箇所を除く部分への突き・蹴りなどで瞬間的に決め、そのダメージにより相手を倒した場合はすべて1本勝ちとします。

○ダメージにより、戦意喪失した場合。

【技あり】

○反則箇所を除く部分への突き・蹴りなどを瞬間的に決め、そのダメージにより一時的に動きが止まった場合。又は、崩れた場合、戦意を喪失した場合は技ありとします。

○ノーガードで相手選手の上段に蹴りわざがヒットした場合。

○前蹴り・下段蹴りで相手選手をきれいに転倒させて、下段突きをした場合。

○下段蹴りなどで、相手選手が足を引きずる様な場合。

○同時に蹴りが入った場合は、先に入った方が技ありとし、まったく同じ場合は相打ちとし技ありとはならない。

○胴廻し回転蹴りをかわし、タイミングよく下段付きをした場合。

【反則】

○掴み、掴んでからの攻撃。

○掌低、または正拳による押し、手・肘による顔面への攻撃。

○頭突き、金的への攻撃。

○倒れた相手、背後からの攻撃。

○故意に場外に出ること。

○故意に倒れ、相手に攻撃をさせない事。かけ逃げなど。

○上段ヒザ蹴り。(幼年・小学生は反則。中・高校生は有効)

○以上の反則には審判より注意が与えられ、注意4回で失格(反則負け)となります。

<防具付き>

【防具】

面(Kプロテクターまたは類似セーフ面) 主催者用意

胴 主催者用意

拳サポーター(小学生・中学生布製拳サポーター、高校生 主催者用意)

スネサポーター・金的サポーター

【試合時間】

小・中学生・マスターズ・一般女子 本戦 1分30秒 延長 1分 1ポイント先取り

高校生・一般男子 本戦 2分 延長 1分 1ポイント先取り

【判定】

○1本勝ちまたは6ポイント先取で勝ち・判定勝ち(ポイントの多い方が勝ち)

○本戦引き分けの場合は延長戦1分間、ポイント先取り勝ち

【ポイント】

突き蹴り全て1ポイント(プロテクター着用部位のみ有効、顔面はプラスチック部分)

【有効技】

上段・中段への突き蹴り(バックブロー・裏拳あり)

【反則技】

投げ、掴み、金的攻撃、ローキック、膝蹴り、掌低打ち、倒れた相手への直接攻撃、プロテクター着用部位以外への攻撃等。

<グローブ空手>

【防具】

面、グローブ、スネサポーター、膝サポーター、金的サポーター、マウスピース着用、空手衣着用。

※サポーター類は主催者用意あり

【試合時間】

一般部 本戦 2分、延長戦 1分30秒マスト。

壮年部 本戦 1分30秒、延長戦 1分マスト。

【判定】

○1本 1本勝ち(KO)、突き、蹴りによる攻撃で3秒以上のダウン、又は2度の技あり。

○判定 技あり→突き蹴りによる攻撃で一時的にダウンし、3秒以内に立ち上がったとき。または倒れはしないが一方的な連打をあげたとき。

ドローの場合、1分のインターバルののち2分間の延長戦。副審(2名)及びレフリーによる旗判定とする(本戦もレフリーを主審とする)

【反則】

肘による顔面殴打、金的蹴り・頭突き・投げ、ダウンした相手への攻撃、背中への攻撃、両手で掴んでの膝蹴り(首ずもう禁止)、度重なる場外。

【減点】

選手が規則に反したときはポイントを減ずる。反則を行ったとき、注意を与え、注意2回で減点1、減点2で失格となる。

【その他】

試合はトーナメント、トーナメントが組めない時はワンマッチ戦とする。

バックハンド、片手で掴んでの蹴りを認める。

<形(伝統形・極真形)>

・個人形競技の予選・決勝は以下のとおりである。

◆予選形・決勝形◆

競技種目	極真形		伝統形	
	初級	太極	初級	平安形(基本形)のみ
幼児	初級	太極	初級	平安形(基本形)のみ
	上級	ピンアン以上	上級	平安形(基本形)のみ
小中高校生	初級	太極・ピンアンまで	初級	平安形(基本形)
	上級	ピンアン以上	上級	平安形(基本形)以上

<剛柔流は撃砕の形を選択できる。普及形可。創作形・中国拳法の形は不可>

○全てトーナメント試合のフラッグ制で行う。

○極真形は上級はピンアン形以上、伝統形は上級は平安形以上

【判定基準】

○技の正確さ、正しい緊張、集中力、極め、呼吸と動きの調和、滑らかな身体の移動、腰の位置と安定した重心、「芝居がかった演技」ではなく「形本来の意味の演技」を判定する。

○演武中、帯が床に落ちた者は負けとする。

○決勝において難度の高い形を使用する場合、熟練されていないと基本形に負ける場合もある。

(級位が低い少年少女がスーパーリンペイ・燕飛などを演武することはあり得ない)

<小太刀短棒術>

【ポイント制】(10ポイント先取り制)

【審判及び時間】

- 試合は主審1名、副審1名の計2審制、または、主審1名、副審2名の3審制で行う。
- 時間は各クラスとも1分30秒の合計ポイントにより優劣を決める。
- 延長は1分以内の先取りポイントとする。
- 敗者戦については1分間制とする。

【技あり】

- 相手の体に小太刀(剣)が先に当たった時点で技ありとする。
- 面に打ちは2ポイント、その他の部位は1ポイントとする。
- 相打ちは両者ポイントとする。
- 小太刀を落とした場合でも試合は続行します。(すぐに拾い直してください)
- 小太刀を落とした相手への技有りポイントは1ポイントとする。
(面を攻撃しても1ポイントとなります)
- 小太刀が場外に出た場合は相手に1ポイントの加算とする。
(少しでも残っていれば良い)
- 体の片足がコートより出た場合は相手に1ポイント加算する
- 延長戦の相打ちは取らず、但し相打ちの2(面)対1(面以外)の場合は面の勝ちとなる。

【反則】

- 相手をつかんでの攻撃、金的への攻撃、突きへの攻撃(行為も反則になります)、剣以外の攻撃、当身からの攻撃、審判の宣告「止め」後の過剰攻撃
- 全て反則は相手の1ポイント加算となる。

<反則加算ポイント>

- ・反則行為1回により注意警告とする。反則行為2回目より相手に1ポイント加算する。

【防具・小太刀及びタテ】

- 面はスーパーセーフ、または、主催者が定めて面を使用とする。小太刀の持ち手には拳サポーター使用とする。
- 主催者が定めた小太刀、タテを使用とする。
- 空手(道衣)着装のこと。

<注意事項>

- 審判に従わなき場合は失格とします。
- 審判への暴言についても反則行為、または失格とします。
- 大会状況に合わせたルールの変更を行うこともあります。
- ゼッケンは当日配布します。
- 事故が生じた場合主催者側は一切の責任を負いかねます。
各自でスポーツ保険に加入しておいてください。
- コート入退場時の挨拶の徹底。判定時の雄叫び、ガッツポーズは禁止です。
- セコンドは2名までです。
- 審判・選手及び相手方セコンドへのヤジ・暴言は出場選手・役員を含め道場全体を退場とします。
- 参加選手は勿論、付き添いの方々も相手選手や審判員に対する礼節・マナーに充分ご配慮願います。
- サポーター類は試合前、事前にインナーに着用してください。
- 女子選手以外は空手着の下にTシャツ等を着用しないでください。
- ジャッジへのクレームは一切受け付けません。
- 三脚を使用してのビデオ撮影はご遠慮ください。